

夏期講習会、お盆特訓、8月分授業など、開倫塾で夏休み中に学んだすべてのテキストを復習して
定着させ、2学期を迎えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q1：開倫塾で夏休み中に学んだことを、8月下旬や9月以降に行われる模擬試験と学校の定期試験などに生かし、よい成績を確実に取るにはどうしたらよいですか。教えてください。

A：(1)素晴らしい質問ですね。塾生の皆様からこのような質問が来るのを、ずっと待っていました。答えは3つあります。

(2)1つ目は、<「復習」をして、「理解」すること>

開倫塾で夏休み中に学んだ内容を、それぞれのテキストを用いて、次のように、ゆっくりともう一度学び直して、「復習」をして「理解」することです。

①計算や問題は、すべてノートにもう一度解き直すこと。

*よくわからない問題や計算があったら、テキストをもう一度読み直すこと。それでもよくわからなかったら、開倫塾の先生に質問してくださいね。

②意味のわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」と考えて、辞書や用語集、学校の教科書、参考書で調べること。

③調べたことはノートやカードに書き写し、その場で覚えること。覚えられなければ、繰り返し読み直すことです。

Q2：2つ目は何ですか。

A：<すべて覚える、身に着ける、つまり「定着」させること>

(1)開倫塾で夏休み中に学んだ全教科のテキストを、スミからスミまですべて覚える。学んだことを、スミからスミまですべて覚える、身に着ける、つまり「定着」させることが大切です。

(2)そのために一番よい方法は、次の3つの練習、つまり「定着のための3大練習」を繰り返し行うことです。

①音読練習

スラスラとよく読めるようになるまで、「声を出して繰り返し読む練習」をすること。

*小さな声でもOKです。とにかく、声を出して読むことです。

*国語、英語だけでなく、数学、理科、社会も「音読練習」をすることです。

②書き取り練習

全教科のテキストにある語句の中で、よく書けないような語句を選び、「書き順も含めて正確に書けるようになるまで、何回も書き取り練習」をすること。

*国語、英語だけでなく、数学、理科、社会も「書き取り練習」をすることです。

③計算・問題練習

数学、理科はもちろんのこと、国語、英語、社会についても、計算や問題を見た瞬間にパ

ッ、パッ、パッと条件反射で正解が出るまで、同じ問題を繰り返し解く練習をすること。

*ただし、この練習は、なぜそのような解答になるかがよくわからない、理解できない計算や問題については「理解」のあとにしましょう。「理解」が先です。

(3)「練習は不可能を可能にする」という、慶應義塾塾長の小泉信三先生の教えがあります。

- ①「定着のための3大練習」は「不可能を可能にする」と考えます。
- ②「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」は、「不可能を可能」にします。
- ③「学校成績向上」と「第一希望校合格」を確実にします。

Q3：3つ目は何ですか。

A：<「応用力」を身に着けること>

(1)「応用力」が身に着くと、「学校成績向上」と「第一希望校合格」が確実にになります。

(2)「応用力」を身に着けるためには、次の2つがお勧めです。

- ①「間違いノート」づくり
*間違えた問題をまとめる
- ②「まとめノート」づくり
*大切なことをまとめる

Q4：最後に一言どうぞ。

A：以上をやり遂げるには、次の3つが欠かせません。

(1)<受験生としての「自覚」、「覚悟」>

- ①来年は受験がなくても、数年後には受験生となるのですから、受験生としての「自覚」、「覚悟」が欠かせません。
- ②何のために進学するのか、その学校を卒業してどうしたいのかを自分の頭で考えたうえで、第一希望校を明確に決定してください。

(2)<ハードな長時間自己学習>

- ①このような本格的な学習は、短時間では終わりません。
- ②非常に厳しい長時間の自己学習が必要です。
- ③また、「自分から進んで学ぶ力」、「主体的に学ぶ力」が最も求められます。

(3)<読解力>

- ①「読解力」なくして、「偏差値の急激な上昇」、つまり「学校成績向上」と「第一希望校合格」はありません。
- ②一見遠回りに見えるかもしれませんが、辞書、新聞、読書に本格的に取り組んで「読解力」を身に着けることこそが、最速で、最も確実、最も効果的な学習方法です。
- ③一日に30分ずつ、辞書、新聞、読書に取り組むことを、心の底からお勧めします。

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)